

「拠点公民館（まちづくり拠点）の建設地」に関するアンケート

～50年先を見据えた、みんなにとって使いやすい拠点づくりのために～

【調査の目的】（回答目安：5分程度）

大山町では、施設の老朽化に伴い町全体の中心となる「中央公民館」の機能を中心に、交流や学び、憩いの機能を一体化した約3,000㎡規模の「新しい複合施設」の新設を検討しています。人口減少と財政状況を踏まえ、すべての地区に同規模の施設を持つことは困難なため、町全体で中核となる拠点づくりが必要です。

本アンケートは建設地の評価を目的としたもので、人気投票ではありません。子どもや高齢者など移動に制約がある方を含め、町民全体にとって、「不便や困りごとを最小限にする場所選びの考え方」という判断基準をみなさまと共有し、建設地決定の参考にさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

【現在の計画における優先順位】（検討委員会にて順位付けを実施。交通の便と人口で評価しました。）

候補地区（検討委の優先順位）	メリット	デメリット・懸念点
第1位 名和地区 （道の駅～御来屋駅～名和駅周辺）	・町全体からのアクセスが均等 ・行政機能等の集約化を図りやすい	・まとまった用地を確保するのが難しく、駐車場から歩く可能性がある
第2位 大山地区 （大山インターチェンジ～大山口駅周辺）	・人口集積が進み、民間施設等の進出も期待でき、将来的な利便性が高い	・中山地区からのアクセスが不便 ・地価上昇に伴う用地取得費増加が懸念される
第3位 中山地区 （フォーラム中山周辺）	・自然豊かで文教エリアと親和性が高い ・用地取得費用が低い	・大山地区からのアクセスが不便 ・平坦な場所が少なく、造成費用が大きくなる

【検討委員会で策定した計画の詳細について】

まちづくり拠点整備に関する詳細な計画内容や検討状況については、右記の二次元バーコード（または町公式ホームページ）よりご覧いただけます。



【基本情報】（集計・分析のみに使用します）

1. お住まいの地区	☐ 名和地区	☐ 大山地区	☐ 中山地区	☐ 町外	
2. 年代	☐ 10代以下	☐ 20～30代	☐ 40～50代	☐ 60～70代	☐ 80代以上
3. 主な移動手段	☐ 自家用車	☐ 公共交通（JR・バス）	☐ 家族等の送迎	☐ 徒歩・自転車	

第1部：拠点の立地を決める上での「重視すべき基準」（地区決定後の条件）

【問1】新しい拠点施設の場所を考えると、町全体にとって「不便さや困りごとを少なくする」ために重要だと思う考え方はどれですか。重視したいものを【3つまで】選んでください。

☐ ①【日常生活】 スーパーや銀行、病院などに近く、日常の買い物や用事が同時に済ませられる	☐ ②【子どもの安全】 小中学校の近くや通学路上にあり、放課後に子どもが安全に行きやすい
☐ ③【交通の結節点】 駅やバス停の近くにあり、車を運転しない人も自力で行ける	☐ ④【行政・福祉連携】 役場や福祉施設と近く、複数の用事（手続き等）が済ませられる
☐ ⑤【将来負担の軽減】 建築・維持管理コストを抑えられる	☐ ⑥【移動】 各集落からの平均的な移動距離が短くなる物理的中心地や西部圏域中心部へのアクセス性
☐ ⑦【防災・災害対応】 災害時の避難場所や防災拠点として機能しやすい	☐ ⑧【多世代の交流】 既存の公園や周辺施設と連携し、幅広い世代が自然に集まりやすい

【問2】問1で選んだ項目の中で、あなたが【最も重要】だと思うものを1つ選び、その理由をお書きください。

最重要と思う番号：【 】

理由・きっかけ（例：将来免許を返納した後の移動が不安だから／子どもが放課後に安心して過ごせる場所が必要だからなど）：

※裏面へつづきます→

第2部：候補地区の客観的な評価とみんなにとって一番良い状態について

【問3】 参考情報をふまえ、各地区の「アクセス性」や「町全体への効果」について、あなたの客観的な評価を教えてください。

候補地区	良いと思う	どちらともいえない	懸念・課題がある
① 名和地区（道の駅～御来屋駅～名和駅周辺）	☐	☐	☐
② 大山地区（大山IC～大山口駅周辺）	☐	☐	☐
③ 中山地区（フォーラム中山周辺）	☐	☐	☐

【問4】 仮に拠点公民館を決定した場所が、あなたの家からの利便性に影響があったとしても、みんなにとって使いやすく、負担が少ない場所であるならば、その場所を受け入れられますか。

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない ☐ あまり思わない ☐ 思わない

【問5】 決定した場所が家から遠くなった時、どのようなサポートや工夫があれば、不便さを感じずに受け入れられると思いますか。（複数選択可）

- ☐ 移動手段のサポート（デマンドバスやライドシェア（自家用車で有償旅客運送する仕組み）の充実など）
☐ 身近な場所での活動（近くの集会所で公民館の出張講座や巡回サービスが行われる）
☐ 魅力・行く価値（「遠くても行きたい」と思える機能やカフェ・学習スペースが拠点公民館にある）
☐ オンライン対応（自宅や近くの集会所から公民館のイベントや相談にオンライン参加できる）
☐ その他（_____）

第3部：将来へのメッセージ・自由記述

【問6】 拠点公民館の整備について、新しい拠点公民館へ期待することや心配ごとなどご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。回答票は回収箱へご投函ください。

【回答期限】 令和8年11月30日（月）

【回収箱設置場所】 大山町役場本庁、各支所の総合窓口、各公民館、町立図書館

【お問合せ】 大山町まちづくり課（TEL: 0859-54-5202）

※Webからの回答（オンライン回答）をご希望の方は、右記の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取ってご回答いただけます。

